



# 実物資料を使った考古学体験

教科[社会科] 学年[主に小6] 授業時間[45分～]

実施場所[学校ほか]



## ・内容

- (1) ねらい：さまざまな時代の実物の土器に触れてその特徴や技術の移り変わりなどを感じ取るとともに、考古学（遺跡の調査）の作業を疑似体験することで地域の歴史がどのように解明されていくのかを体感し、社会科の授業における歴史学習に活かしていく。
- (2) 活動内容：実物の土器や道具を用いて、遺跡の発掘や室内での資料整理作業を疑似体験する。
- (3) 対象学年：主に小学校6年生（他の学年も可能）
- (4) 授業時間：45分～（調整可能）
- (5) 活動について：日時を調整後、地域遺産センター職員が学校等へ出向いて実施します。学区内で遺跡の発掘調査を実施している場合、現地での実施も可能です。道具の数量等に限りがあるため、1回で対応できる人数は1クラス分（30人）程度となります。

## 備考

## 団体紹介

浜松市文化財課(浜松市地域遺産センター)

浜松市内の歴史や文化遺産(地域遺産)にかかわる調査、研究、普及啓発事業を行っています。

お問い合わせは

浜松市教育委員会教育総務課まで 電話 053-457-2401